

# 稲生川ウォーキングマップ。人と自然が共に創る郷土を歩こう。

0000 目指せ一日一万歩! 自然の中で心身の健康づくり。楽しみながら地域交流。歩いて回る市内観光もお勧めです。



Towada City Wide Area Map  
十和田市周辺広域地図



### 人工河川・稲生川の開削と三本木原(現十和田市域)の開拓

幕末に行われた三本木原開拓は、十和田市をはじめ2市4町に命の水運び、荒涼とした三本木原を青森県内有数の穀倉地帯に変えました。十和田市は農畜産業を基幹産業に発展し、現在、県内第3位の水田面積、国内でも高い食料自給率を誇っています。十和田市の緑豊かな田園風景はそうした歴史を秘めています。



#### ■鉄道(JR東北新幹線)でのアクセス

東京	七戸十和田駅	十和田市内	約4時間
仙台	七戸十和田駅	十和田市内	約2時間30分
盛岡	七戸十和田駅	十和田市内	約1時間30分
青森	七戸十和田駅	十和田市内	約45分

#### ■飛行機(JAL)でのアクセス

羽田 東京	約80分	三沢空港	車(またはタクシー)	約2時間
伊丹 大阪	約110分	三沢空港	車(またはタクシー)	約2時間30分

### 未来遺産登録

100年後の子どもたちに長い歴史と伝統のもとで豊かに育われてきた地域の文化・自然遺産を伝えるための運動。公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が推進。

### 「太素の水」プロジェクトとは

「稲生川開削と三本木原開拓の志を活かし、共創郷土の伝統を未来に」という共通の志を持ち、地域のかけがえない遺産を自分たちの手で守り、活かし、未来に引き継ぐという未来志向のプロジェクト。



### ウォーキングの注意点

- ①準備運動をきちんとしよう
- ②こまめに水分補給をしよう
- ③炎天下は避けよう
- ④体調に合わせて行おう
- ⑤吸汗性、速乾性にすぐれた素材のものを着用しよう
- ⑥病気・疾患を持っている方は、主治医に相談してから行おう

\*十和田地域でウォーキングを楽しめる時期は4月から11月です。人の手で引かれた用水路と沿線に広がる田園風景、見事な桜並木に心がなごみます。

### 「太素の水」プロジェクトの主な活動団体

- 一本木沢ビオトープ協議会は、ため池を活用したビオトープで、水辺の多様な生物の生息環境の保全と「自然・教育」に関する活動を地域とともに展開しています。

### 未来へ受け継ぎたい地域の遺産

江戸時代末期、新渡戸三代(稲造の祖父傳・父十次郎・兄七郎)と、「公」に尽くす志で結ばれた先人たちは、不毛と呼ばれた三本木原台地に奥入瀬川の水を引くという壮大な計画を立て、1855年に着手。綿密な測量により山々に穴堰を掘りぬく難工事の末、ついに4年後、トンネル2か所約4kmを含む約11kmの水路建設に成功。開拓の初穂に因み十次郎の三男は「稲造」と名づけられた。1860年十次郎は上水を活用し、京都を模して碁盤の目状の都市計画を行った。これは近代都市計画のルーツと称され、現在もその様相が残る。太素(傳の号)の志を継ぐ人々の手により今も命の水・稲生川は流れる。未来に引き継ぎたい遺産だ。



●Kyosokyodo共創郷土は、稲生川開削と三本木原開拓の志を活かす地域づくりを推進し、新渡戸記念館と教育委員会共催の人づくり・地域づくり塾のサポートなどの活動を行っています。

「太素の水」プロジェクトは「太素の水」保全と活用連合協議会により運営され、稲生川の自然歴史、文化を守り活かす活動を通じた持続的な地域づくりが評価されて、平成23年に日本ユネスコのプロジェクト未来遺産に登録されました。



●稲生川せせらぎ活動委員会は、稲生川の遊休地を利用して整備されたせせらぎ水路と稲生川ふれあい公園において、「親水」と「交流」を目指し、環境美化などの活動を行っています。

【お問い合わせ・ご相談は】…Kyosokyodo [共創郷土] 事務局 (十和田市立新渡戸記念館内) Tel.0176 (23) 4430 ☎034-0031 青森県十和田市東三番町24-1 URL: kyosokyodo.jp Email: info@kyosokyodo.jp

【協力】「太素の水」保全と活用連合協議会・十和田市観光推進課・十和田商工会議所・太素顕彰会・水土里ネット稲生川・十和田市立新渡戸記念館・十和田市教育委員会・北里大学獣医学部・十和田市立中央病院・十和田市民のボランティアガイド有志・十和田ウォーキングクラブ  
\*このマップは平成24年度「元気な十和田市づくり市民活動支援事業」で作成しました。

# 稲生川ウォーキングマップ

川の流れとともに  
5つのコースをご提案

コース① 19.4km ② 7.7km ③ 6.4km ④ 4.3km ⑤ 1.4km

## ◆稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川からの取水口。幕末に原型がつくられ、当時は大石をいくつか置き導水する構造であったが、現在は長さ52mの「固定せき」でせき止め、取水している。

## ◆中里隧道

新渡戸十次郎の第二次上水計画を受け継いだもの。国営事業で昭和40年(1965)竣工。長さ約1.6km。太平洋までの水量確保のため、中里隧道ほか国営水路を稲生川に合流。

## ◆熊ノ沢水路橋

国営水路が熊ノ沢川を横断する水路橋。国営水路は稲生川より12m高く水路橋で熊ノ沢川の上を流れ、稲生川はサイフォンで熊ノ沢川の下を流れる。

## ◆熊ノ沢サイフォン

江戸時代は稲生川を熊ノ沢川に合流させ、対岸の水門から再び取水していたが明治以降には水路橋で川の上を通し、昭和12年(1937)の国営事業でサイフォンに。

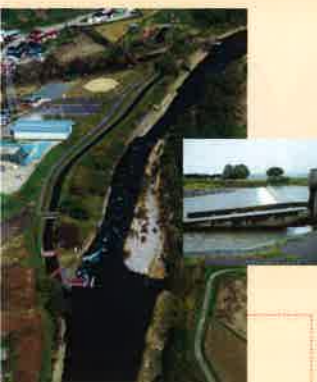
## ◆巫女塚

イタコの墓があったため「巫女塚」と呼ばれる。山の斜面に盛り土する「片堤」の工法で築き、高さ5mの石垣の上を稲生川が流れる。急カーブで蛇行するため何度も決壊し、「崩れ土手」の異名もあった。

## 稲生川

農水省認定[疏水百選]

八甲田の山すそに開けた田園都市十和田。先人たちの手で引かれた稲生川は、十和田湖・奥入瀬川を水源に沿線地域に豊かな水を運び太平洋へと達します。時を超えて地域の人々に愛され続ける稲生川の流れに沿って水の旅路を歩いてみませんか。



ウォーキングイベントでは特別に水路橋を歩き見学できます。

深持

供養観音

上水記念碑

奥瀬

深堀平

## 2. 先人の技術みどころコース



## 1. 開拓ゆかりコース



◆法量農村公園  
つり橋からサイフォンやトンネル入口など川の構造が見える。江戸時代の測量具(勾配器など)や掘削具(ばんづるなど)のレリーフがあり、当時の技術も学べる。



◆天狗山トンネル  
一番の難所のトンネル(穴堰)の出口。横穴工法によって手掘りで900間(約1.6km)を約8ヶ月で掘り、安政4年(1857)5月完成。(改修後長さ1.39kmに)



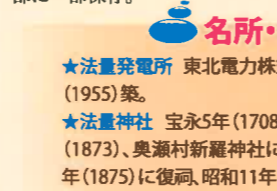
◆道の駅「奥入瀬」・奥入瀬ろまんパーク  
土産館のほか十和田牛ステーキレストラン、地ビールレストラン、地元産生乳のソフトクリームが人気の手づくり工房、観水公園やユニファーマーガーデンもある。隣接する大堀公園には樹齢100年以上、幹周4mのユリの木もある。



◆鞍出山トンネル  
最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。



◆鞍出山トンネル  
最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。



◆鞍出山トンネル  
最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。

◆鞍出山トンネル  
最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。

◆鞍出山トンネル  
最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。

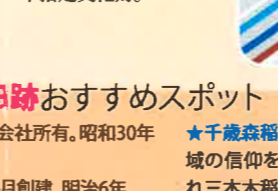
◆鞍出山トンネル  
最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。

◆鞍出山トンネル  
最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。

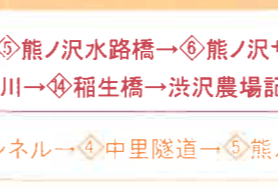
◆鞍出山トンネル  
最初に着手された工区。横穴工法で1400間(約2.5km)を約7ヶ月で掘り、安政3年(1856)4月に貫通。蛇行が多く、後の改修で1.69kmに。手作業の掘削痕を内部に一部保存。



◆山神の碑/金比羅山の碑  
安政3年(1856)工事の安全を祈って土木技術者たちが建てた碑。吉助はじめ技術者17名の名が刻まれる。右隣の金比羅山の碑も安全祈願の建て慶応3年(1867)建立。ともに市指定文化財。

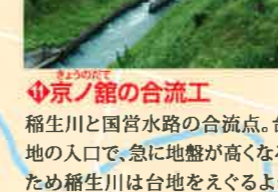


◆山神の碑/金比羅山の碑  
安政3年(1856)工事の安全を祈って土木技術者たちが建てた碑。吉助はじめ技術者17名の名が刻まれる。右隣の金比羅山の碑も安全祈願の建て慶応3年(1867)建立。ともに市指定文化財。

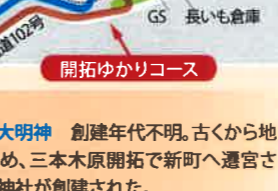


◆山神の碑/金比羅山の碑  
安政3年(1856)工事の安全を祈って土木技術者たちが建てた碑。吉助はじめ技術者17名の名が刻まれる。右隣の金比羅山の碑も安全祈願の建て慶応3年(1867)建立。ともに市指定文化財。

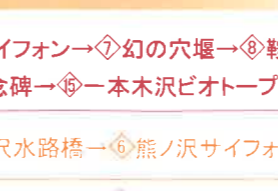
◆山神の碑/金比羅山の碑  
安政3年(1856)工事の安全を祈って土木技術者たちが建てた碑。吉助はじめ技術者17名の名が刻まれる。右隣の金比羅山の碑も安全祈願の建て慶応3年(1867)建立。ともに市指定文化財。



◆京ノ館の合流工  
稲生川と国営水路の合流点。台地の入口で、急に地盤が高くなるため稲生川は台地をえぐるように10mも掘り下げた所を流れる。中世の「京ノ館」堀跡を一部活用した。

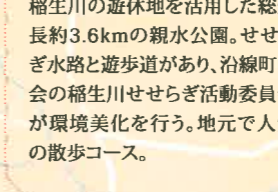


◆京ノ館の合流工  
稲生川と国営水路の合流点。台地の入口で、急に地盤が高くなるため稲生川は台地をえぐるように10mも掘り下げた所を流れる。中世の「京ノ館」堀跡を一部活用した。



◆京ノ館の合流工  
稲生川と国営水路の合流点。台地の入口で、急に地盤が高くなるため稲生川は台地をえぐるように10mも掘り下げた所を流れる。中世の「京ノ館」堀跡を一部活用した。

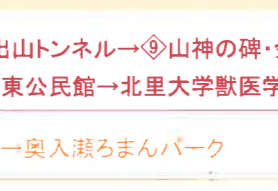
◆京ノ館の合流工  
稲生川と国営水路の合流点。台地の入口で、急に地盤が高くなるため稲生川は台地をえぐるように10mも掘り下げた所を流れる。中世の「京ノ館」堀跡を一部活用した。



◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。



◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。

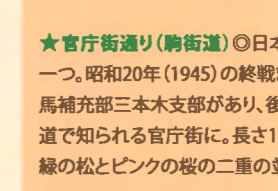


◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。

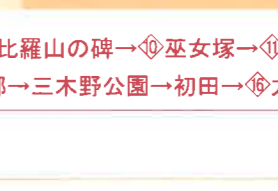
◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。



◆稲生橋  
稲生川と奥州街道(旧国道4号)が交差する場所。万延元年(1860)開拓地を訪れた南部藩主利剛公が、川・橋・町を「稲生」と命名。擬宝珠つきの橋は当時名所として評判に。

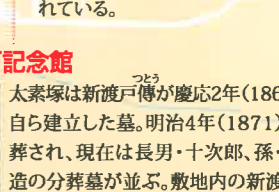


◆稲生橋  
稲生川と奥州街道(旧国道4号)が交差する場所。万延元年(1860)開拓地を訪れた南部藩主利剛公が、川・橋・町を「稲生」と命名。擬宝珠つきの橋は当時名所として評判に。



◆稲生橋  
稲生川と奥州街道(旧国道4号)が交差する場所。万延元年(1860)開拓地を訪れた南部藩主利剛公が、川・橋・町を「稲生」と命名。擬宝珠つきの橋は当時名所として評判に。

◆稲生橋  
稲生川と奥州街道(旧国道4号)が交差する場所。万延元年(1860)開拓地を訪れた南部藩主利剛公が、川・橋・町を「稲生」と命名。擬宝珠つきの橋は当時名所として評判に。



◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。



◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。



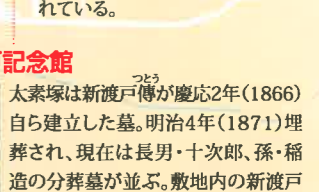
◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。

◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。

## 5. ピオトーブコース



◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。



◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。



◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。



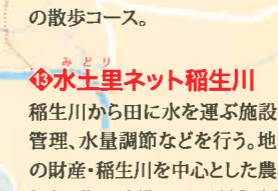
◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。

◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。

## 4. まちなか歴史コース



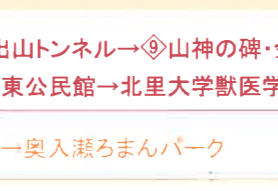
◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。



◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。

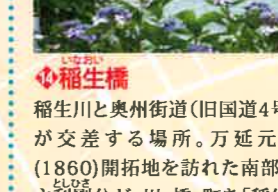


◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。



◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。

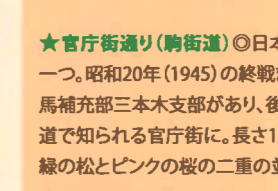
◆稲生川ふれあい公園  
稲生川の遊休地を活用した総延長約3.6kmの親水公園。せせらぎ水路と遊歩道があり、沿線町内会の稲生川せせらぎ活動委員会が環境美化を行う。地元で人気の散歩コース。



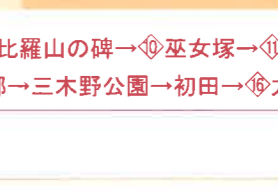
◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。



◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。



◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。



◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。

◆一本木沢ピオトーブ  
明治時代の稲生川工事で盛り土を取った穴が農業用溜池となり、それを活用してピオトーブとして整備した。様々な野鳥やホテルも観察され、今も生物多様性が守られている。

モデルコース 1. 開拓ゆかりコース 19.4km 所要時間 4時間8分  
①稲生川頭首工(取水口)→②法量農村公園→③天狗山トンネル→④中里隧道→⑤熊ノ沢水路橋→⑥熊ノ沢サイフォン→⑦幻の穴堰→⑧鞍出山トンネル→⑨山神の碑・金比羅山の碑→⑩巫女塚→⑪京ノ館の合流工→⑫稲生川ふれあい公園→⑬稲生川せせらぎ水路→⑭碧水拓心碑→⑮水土里ネット稲生川→⑯稲生橋→⑰浪沢農場記念碑→⑱一本木沢ピオトーブ→⑲東公民館→⑳北里大学獣医学部→㉑三木野公園→㉒初田→㉓太素塚・十和田市立新渡戸記念館

2. 先人の技術みどころコース 7.7km 所要時間 1時間36分  
奥入瀬ろまんパーク→①稲生川頭首工(取水口)→②法量農村公園→③天狗山トンネル→④中里隧道→⑤熊ノ沢水路橋→⑥熊ノ沢サイフォン→奥入瀬ろまんパーク

3. 稲生川せせらぎ満喫コース 6.4km 所要時間 1時間19分  
⑫稲生川ふれあい公園→⑬稲生川せせらぎ水路(稲生川幹線沿い)→⑭稲生川せせらぎ水路(国道102号沿い)→⑮碧水拓心碑→⑯稲生川ふれあい公園  
※この内「稲生川ふれあい公園～稲生川せせらぎ水路(稲生川幹線沿い)～碧水拓心碑」の往復は定番のお散歩コースです(距離5.12km 所要時間:1時間4分)

4. まちなか歴史コース 4.3km 所要時間 54分  
⑰太素塚・十和田市立新渡戸記念館→⑱稲生町→⑲八甲公園(防風林の名残の古木)→⑳中央公園→㉑官庁街通り「駒街道」(軍馬補充部の碑)→㉒澄月寺→㉓太素塚・十和田市立新渡戸記念館

5. ピオトーブコース 1.4km 所要時間 18分  
自然観察小屋前の橋からスタートして遊歩道を歩いて橋に戻るコース  
体験ポイント 法量農村公園 | 奥入瀬ろまんパーク | 稲生川ふれあい公園 | 桜の広場 | 中央公園 | アート広場・十和田市現代美術館 | 三本木稲荷神社 | 太素塚・十和田市立新渡戸記念館 | 三木野公園 | 前谷地公園 | 一本木沢ピオトーブ



# 1 開拓ゆかりコース

所要時間  
19.4  
4時間  
8分

●男性◎27000歩 ●女性◎約33000歩

奥入瀬川から稲生川への取水口、トンネル、サイフォン、水路橋などに見られる高い土木技術には先人たちの知恵が詰まっています。十和田の里山の豊かな自然を感じながら先人たちの歩いた道をたどってみませんか？

※山の景色を見ながら取水口へ向かう逆コースもおおすすめです。

開拓ゆかりコースのルート

「スタート」 | 「ゴール」  
法量農村公園 | 大森塚・新渡戸記念館



稲生川(宿生橋付近)  
海拔およそ70m

奥入瀬川(御幸橋付近)  
海拔およそ35m

取水口(取水口付近)  
海拔およそ100m

稲生川(国営水路の高低差12m)

京ノ瀧の合流工

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

法量農村公園

法量発電所

稲生川頭首工(取水口)

奥入瀬川(取水口)付近

熊ノ沢水路橋

中里隧道

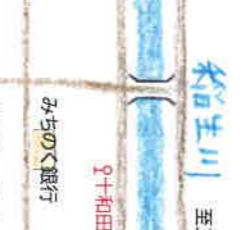
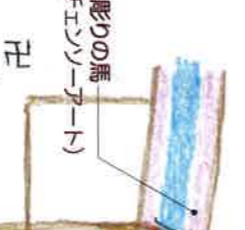
## Enjoy the Town's History

# 4. まちなか歴史コース

所要時間  
43  
54分

●男性◎約6000歩 ●女性◎約7400歩

まちなか歴史コースのルート  
「スタート&ゴール」太森塚



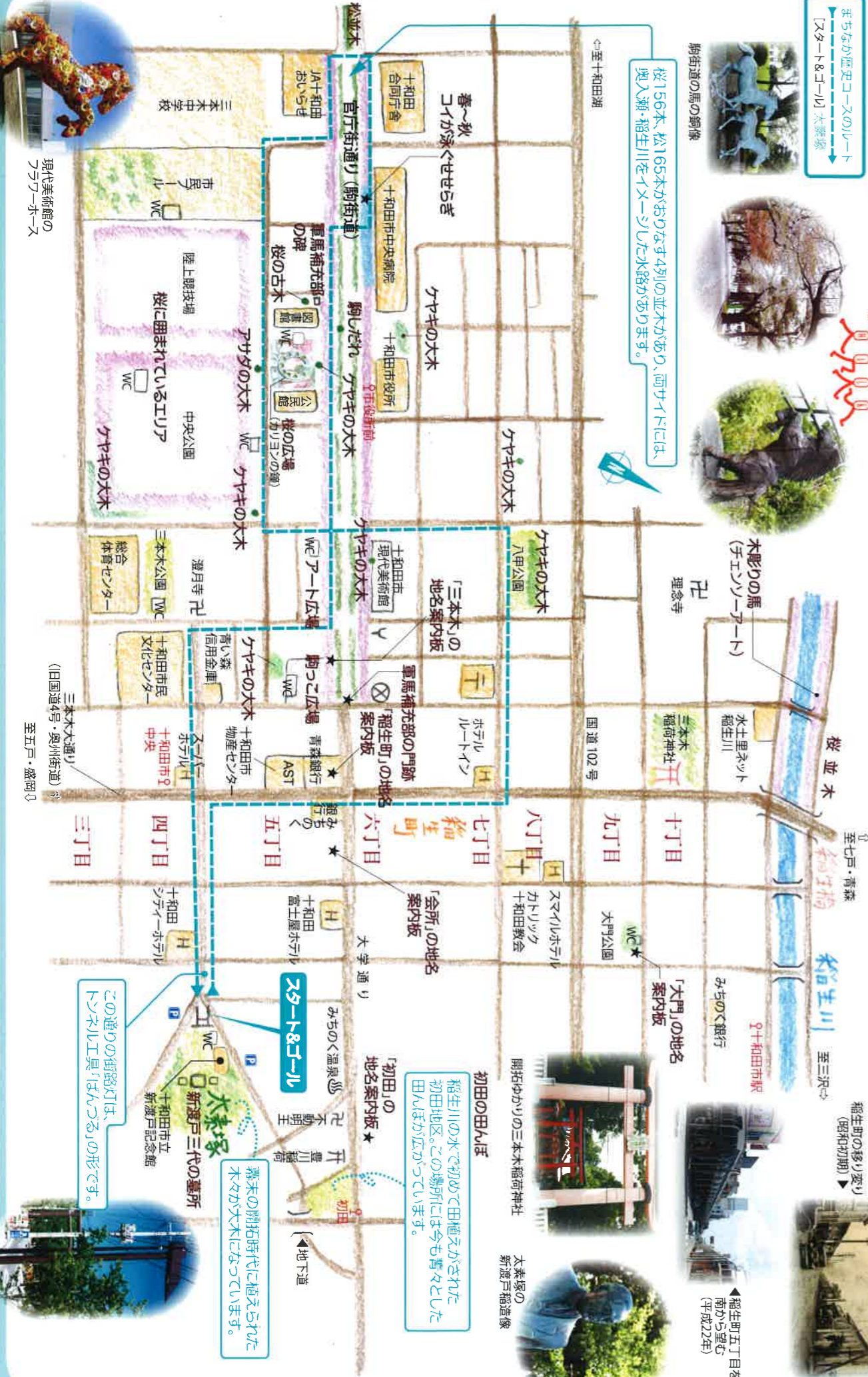
十和田市の中心街は、幕末の人工河川の規制と続く近代都市計画によりつくられ、現在も幕末の目状の道が交差する美しい街並みをとっています。ヤセセや八甲田おろしの冷たい風を防ぐ防風林は江戸時代後期から植えられ、その名残の太木が今も町なかのあちこちに見られます。かつての重馬補充部の並木道を活用して整備された官庁街通り(通称駒街道)は、「日本の道百選」にも選定されており、4月末頃の桜の開花時には桜のピンクと松の緑が見事に調和した絶景が見られます。地元の人はもちろん、訪れる人々の目を魅了させてくれるおどろきの美観スポットです。

奥入瀬川(取水口)付近  
広大な荒野を緑に変えた稲生川のスタート地点。天狗山トンネル入口から全体を一望すると、先人の技術と長い苦闘の歴史を感じます。

幕末に掘削された稲生川と昭和の国営水路が、自然河川・熊ノ沢川と交差する地点。水路橋、サイフォン、トンネルなど様々な土木技術を間近で見学することができます。

国営水路と稲生川の高低差のため流の様に合流する部分が見え、三本木原台地を深く刻むように流れる稲生川を見ると、高台に水を上げることの大変さが実感できます。

取水口(取水口)付近  
▲大石を並べて奥入瀬川から稲生川に導水した昔の様子がわかります。(十和田市立新渡戸記念館蔵)



桜156本、松165本がおりなす4列の並木があり、両サイドには、奥入瀬・稲生川をイメージした水路があります。

初田の田んぼ  
稲生川の水で初めて田植えがされた初田地区。この場所には今も昔々とした田んぼが広がっています。

幕末の開拓時代に植えられた木々が太木になっています。

この通りの街灯は、トンネル工具「ばんづる」の形です。



